

## ミライトグループのCSR活動

株式会社 ミライト・ホールディングス

### 1. はじめに

ミライトグループは、大明(株)、(株) コミュニティア、(株)東電通が共同持株会社「(株)ミライト・ホールディングス」を設立し経営統合して、平成22年10月に発足した企業グループです。

昨年10月にはグループの事業再編成を実施し、大明と東電通を合併した「(株)ミライト」、コミュニティアを商号変更した「(株)ミライト・テクノロジーズ」の2社体制に移行しました(図1)。

これに伴い、新生ミライトグループらしいCSR活動を、グループ各社が連携し一体となって展開していきたいと考えています。

### 2. 経営の基本理念とCSR

信頼される会社として、お客様や株主様などさまざまなステークホルダーから高く評価されるとともに、革新的な企業として常に成長するグループを目指すため、ミライトグループでは経営統合を機に以下のとおりCSRに取り組む姿勢などを経営の基本理念として定めました。

①情報通信を核とし、常に新しい価値を創造する「総合エンジニアリング&サービス会社」として、お客様から最高の満足と信頼を得られる日本のリーディングカンパ

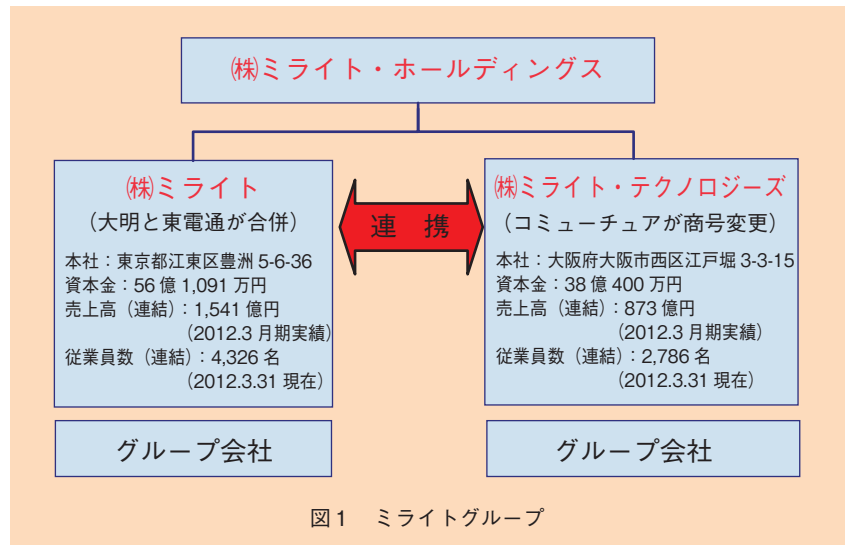


図1 ミライトグループ

ニーを目指します。

- ②安全と品質を大切に、最高のサービスを提供することによって、豊かで快適な社会の実現に寄与します。
- ③企業の社会的責任を果たし、常に人間を尊重する企業として、人や社会と共存共栄する企業であり続けます。

### 3. ミライトグループの商号とシンボルマーク

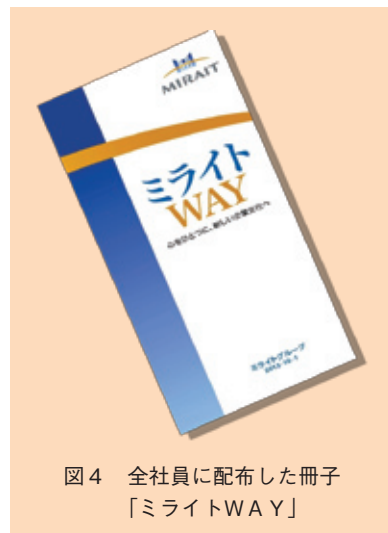
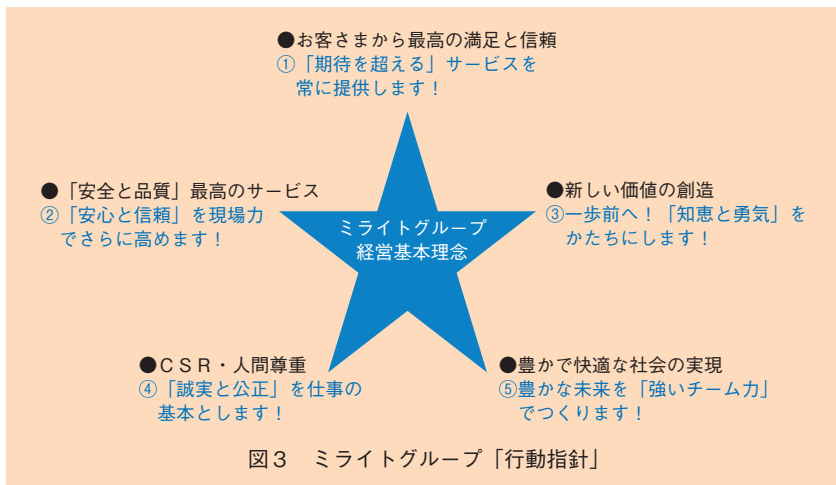
「MIRAIT」という社名は、「未来」と「IT」のふたつの言葉を融合させて、「未来と(共に)」とも読むことができ、これまで私どもが通信建設事業において培ってきた確かな技術力を基盤に、新しい時代の求める統合的な社会インフラ構築に貢献していきたいという気持ちを込めまし

た(図2)。

シンボルマークにおける縦の3本の太いラインは「3つの思い」(①事業ドメインの「幅」を広げる、②事業ドメインの「高さ」を極める、③新しい事業ドメインへの展開を図る)を象徴化したもので、アークラインでそれらを繋ぎ高品質な事業がグローバルに広がっていく様子を表現しました。



図2 ミライトグループ「シンボルマーク」



#### 4. 新たな企業文化をつくる

経営統合および事業再編成を機に、グループの連携強化や社員の意識改革を図り新しい企業文化をつくっていくため、さまざまな施策を展開しています。

##### (1) 「ミライトWAY」

企業のWAYとは、時代に左右されない経営理念や、社員が共有すべき価値観のことで、社員1人ひとりがどのように考えどのように行動すべきかなど、全社員の意識と行動のよりどころとするものです。

ミライトグループ発足時に策定した「経営の基本理念」、「行動指針」(図3)、「企業倫理憲章」を新たに「ミライトWAY」として体系化しました。仕事において各職場単位、個人単位で具体化し実践を図っていきたいと考えています(図4)。

##### (2) グループスローガン

新生ミライトグループは、「何をしている会社なのか」、「何を目標している会社なのか」などを的確に社内外にわかりやすくアピールするため、「make you smile withみらいIT」というグループスローガンを制定しました(図5)。

社員1人ひとりが力を合わせて、笑顔の溢れる明るい社会の構築に貢献していきたいという気持ちを表現しました。

##### (3) MIRAITフォーラム

「風通しのよい」の企業文化を醸成するため、グループ各社の中核社員がメンバーとなり、さまざまなテーマについて企画検討してもらい、その結果を各種施策に反映させています。

主な検討テーマとしては、「グループブランド戦略」「グループ社員間コミュニケーション」「社会貢献・環境保護活動」などですが、「ミライトWAY」やグループスローガンの制定など数多くの成果を出しています。

#### 5. MIRAITフォーラムのCSR関連活動

##### (1) 活動コンセプト

CSRという活動は「組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者問題、コミュニティへの参画・発展」など幅広いものです。MIRAITフォーラムのCSRチームは、ミライトグループの目指すCSRを検討していく中で、テーマ



としては世間から「ミライトっていい会社だね」というイメージをもっていただくための施策について、以下の3つを念頭に置いて取り組みました。

- ①社会に貢献しているという企業イメージが確立できるものであること(ミライトカラー)
- ②ミライトグループ社員に広く浸透すること(浸透性)
- ③一過性の活動にならないこと(継続性)

##### (2) 活動実績

2011年10月：第18回「豊洲フェスタ」へ出展(写真1)

ミライトグループ本社のある東京都江東区豊洲地区において毎年開催される地域住民と企業の交流イベント「豊洲フェスタ」にグループとし



写真1 地域交流イベント「豊洲フェスタ」に出展

て出展しました。

**2012年1月**：近隣企業のCSR担当者との交流会へ参加

江東区内にある企業のCSR担当者との交流会が年4回ほど開催されており、ミライトグループを代表して参加し情報交換しました。

**2012年2月**：「東日本大震災」江東区内被災者懇親会へグループとして参加

「東日本大震災」で江東区内に避難している被災者を激励するイベントが開催され、グループ社員の多くが参加しました。

**2012年3月**：リコー社会貢献クラブ「Free Will」との交流

給与の金額端数を自動的に募金として集める取組みの導入に向けて、実施企業にヒヤリングを行うなど事前調査しました。

**同月**：第8回新木場「清掃まつり」へグループとして参加（写真2）

江東区にある企業による新木場地域を清掃するイベントに参加しました。

**同月**：大宮アルディージャの地域貢献活動グループとの交流（写真3）



写真2 新木場「清掃まつり」に参加



写真3 大宮アルディージャの地域貢献活動に学ぶ



写真4 「水辺クリーン」キャンペーン活動に参加

**同月**：社会貢献型「ドリンク類自動販売機」第1号機を豊洲ビルに導入

**2012年6月**：NTT千葉グループ「水辺クリーン」キャンペーンへの参加（写真4）

**2012年8月**：日本ユニシス様の社会貢献倶楽部「ユニハート」との交流

**同月**：ヤマトシステム開発様の福祉施設「食品販売会」を見学

**2012年10月**：第19回「豊洲フェスタ」へグループとして出展

**2012年11月**：「大阪マラソン」クリーンアップ作戦の清掃活動への参加

### (3) エコキャップ回収の見える化

「エコキャップ」とは、世界において貧困層の多い地域の子どもたちにポリオワクチンを投与してもらうために、ペットボトルのキャップを回収する運動です。キャップ800個(20円相当)でポリオワクチン1人分になることから、ミライトグループでは各事業所などで取り組んでいます。

社員に社会貢献や環境活動の意識付けを図るため、この取組みが社員に見えるように回収実績などをイントラサイトの「MIRAITフォーラム便り」に掲載していますが、平成24年11月現在、約85万個(ポリオワクチン約1,060人分)をエコキャップ推進協会に提供しました。

### (4) 社会貢献を目的とした自動販売機の導入

ミライトグループの拠点等に設置するドリンク類の自動販売機における売上の一部を『緑の募金』(公益社団法人「国土緑化推進機構」)へ寄付することとしました。

自販機業者により寄付金額は違っており、販売1本あたり1円、あるいは売上金2%となっています。

また、大阪市内の北浜ビルのように「10円寄付」ボタンのある自販機も設置しています(写真5)。

現在、東京都江東区内の主要拠点ビルに20台、大阪市内の主要拠点ビルに4台設置しており、順次拡大を図ります。

### (5) 給与端数募金導入の検討

「団体または個人への寄付や援助」に賛同する会員の毎月の給与および



写真5 社会貢献を目的とした自動販売機の導入

賞与の差し引き支払額のうち、100円未満の金額を寄付するというシステムが「給与端数募金」です。

ミライトグループの社員に対してアンケート調査を実施したところ、約7割の社員の賛同を得られたことから、導入に向けて運営方法や寄付先の決定方法などについて今後具体化を図ります。

### (6) 社会貢献クラブ「ミライトの森」の立ち上げ

ミライトグループとしての社会貢献や地球環境保護などの活動について今後さらに充実を図っていくため、社員の自発的な活動を支援する社会貢献クラブ「ミライトの森」を立ち上げることにしています。

これは、会員の自発的な意思による社会貢献活動を支援することにより、社会貢献や環境活動に対する社員の意識付けを行いミライトグループ全体へ浸透を図ることとしています。

## 6. まとめ

企業が社会の中で生きていくためには、法的な面や経済的な面での責任を負うだけではありません。関係するステークホルダーに対してさまざまな配慮をするとともに、より積極的に広く企業の経営内容や経営姿勢を知ってもらうための行動が必要となっています。こうした配慮や行動が、ステークホルダーの評価を高め、中長期的にみて競争力の強化につながり、経営基盤の強化にもつながるものと考えております。

ミライトグループが企業としての力を出していけるかどうかは、私たち仲間がどう一致できるかが鍵となることから、新たなスタートにあたって「心をひとつにする」ことを誓い合いました。

すべての社員が力をあわせ、常に新しいことに挑戦し新しい会社に塗り替えていくことで、皆さんに信頼され長期にわたって持続できる企業としていきたいと考えております。

新生ミライトグループをよろしく願いいたします。